

研究に関するご協力をお願い

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院・放射線診断科では、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。当院における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 9月

一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院・放射線診断科 今井茂樹

■ 研究課題名

腹腔動脈瘤に対するコイル塞栓術の検討

■ 研究期間

承認後速やかに～ 2028年3月

■ 研究の目的・意義

腹腔動脈瘤は、お腹の臓器に血液を送る腹腔動脈に生じる動脈瘤で、比較的まれな疾患です。動脈瘤が破裂すると重篤な状態となる可能性があるため、患者さんの状態や動脈瘤の大きさ・形などに応じて治療が行われます。

当院では、腹腔動脈瘤に対する治療として、カテーテルを用いて動脈瘤を金属製のコイルで塞ぐ「コイル塞栓術」を行っています。

本研究では、当院で腹腔動脈瘤に対してコイル塞栓術を受けた患者さんの診療情報や画像を調査し、治療方法、治療成績および安全性について検討することを目的とします。本研究によって得られた知見は、今後の腹腔動脈瘤に対するより安全で適切な治療方法を検討するために役立つことが期待されます。

■ 研究対象となる方

2014年11月から2025年10月までに、一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院において、腹腔動脈瘤に対してコイルを用いた血管内治療を受けた方が対象です。

■ 研究の方法

この研究は、診療の過程で得られた診療情報や画像を用いて行う観察研究です。この研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

診療録や画像検査から、年齢、性別などの患者背景、動脈瘤の大きさや形態、コイル塞栓術の治療方法、治療結果、治療に伴う合併症、治療後の画像検査の経過、動脈瘤の再発や追加治療の有無などの情報を収集します。

また、研究期間中に通常診療として新たに得られた画像についても、治療後の経過観察の評価に使用します。

これらの情報を用いて、コイル塞栓術が予定どおり行われたか、治療に伴う合併症の有無、治療後の再発や追加治療の有無などについて検討し、腹腔動脈瘤に対するコイル塞栓術の治療成績および安全性を評価します。

研究に使用する情報からは氏名など個人を直接特定できる情報を削除し、研究用の ID に置き換えて取り扱います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

承認後速やかに

■ 研究組織

この研究の研究事務局は一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院放射線診断科であり、研究責任者は放射線診断科 今井茂樹です。集められた情報の管理責任者は一般財団法人脳神経疾患研究所理事長・渡邊貞義であり、それらの情報は同法人総合南東北病院放射線診断科で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

本研究で収集した試料・情報を、他の研究機関や外部の機関へ提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関してご質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目 115

(一財)脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院

放射線診断科 担当：井上崇

電話：024-934-5322 (受付時間：8：30～17：00)

2025.8.5～